

G i k a i

2024年 第73号

令和6年4月25日発行

おみたま市議会だより



Contents 3月定例会

定例会内容P 2-3
予算特別委員会P 4
審議結果一覧P 5-7
臨時会内容・審議結果一覧P 8
常任委員会 Q&AP 9
代表質問・一般質問P 10-17

玉里幼稚園最後の卒園式



令和6年度 一般会計当初予算 241億1千万円 を可決

令和6年第1回定例会は、2月27日から3月21日までの24日間の会期で開かれ、全43議案を審議しました。一般質問は、会派制による代表質問が3会派（真政会・創生小美玉・令和会）で行われ、そのあと11名の議員による個人質問が行われました。



▲本会議の様子（2月27日）

令和6年度の新規および拡充事業

新 小美玉市共同調理場運営経費

【中学校給食費の無償化】

事業費 52,503千円

教育費等の負担が大きい世帯の経済的負担を軽減するため、中学生の給食費を無償化し、子育て世帯の支援の充実を図ります。

対象者…市内に住所を有し、中学校等に通う生徒の保護者

実施内容…市内通学者の給食費月額3,700円（年間40,700円）の全額を徴収免除とします。また、市外通学者には、小美玉市の給食費を限度として、支援金を給付します。

<中学校等給食費>

市内：48,433千円 市外：4,070千円

<生徒数>市内：1,190名 市外：100名

拡充 子育て応援事業

【第2子以降保育料無償化】

事業費 33,070千円

多子世帯の経済的負担軽減を図るため、0歳から2歳までの第2子保育料を無償化し、子どもを育てやすい環境づくり推進します。

【出産祝い金事業】

事業費 22,250千円

子どもの誕生を祝うとともに、それぞれの家族が望む子ども数が実現できるよう、子育て世帯にとって大きい負担となる経済的負担の軽減を図ります。

子ども数	令和5年度まで	令和6年4月から
第1子	2万円	5万円
第2子	2万円	10万円
第3子	3万円	15万円
第4子	3万円	20万円
第5子以降	5万円	25万円

拡充 生活支援事業

【外出支援サービス事業】

事業費 23,058千円

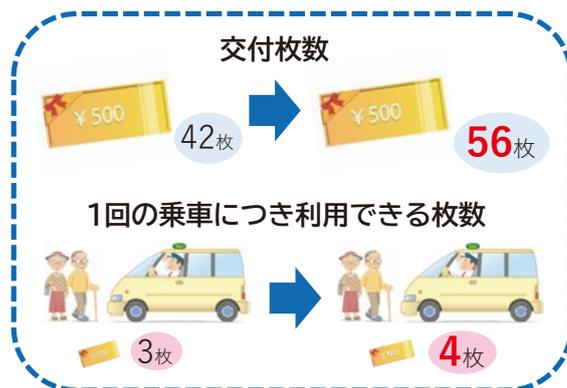
自家用車を運転することができない高齢者を対象に、外出する際の送迎費用の一部を助成することで、日常生活の利便性向上を図ります。

対象者…自動車運転免許を所有していない方で、次のいずれかに該当する方

(1) 70歳以上の方 (2) 60歳以上で下肢または視力に障がいがあり、身体障がい者手帳の交付を受けている方

▶年度ごとの申請から初回のみ申請に変更
継続利用の方は自動更新

実施内容…交付枚数や利用枚数が下記のとおり増えます



令和6年度一般会計予算 対前年度比9.6%増

【会計別予算】

会計別	令和6年度	令和5年度	増減率(%)		
一般会計	241億1,000	220億	9.6↑		
特別会計	国民健康保険(事業)	54億1,149	52億4,185	3.2↑	
	後期高齢者医療保険	7億3,785	6億8,957	7.0↑	
	農業集落排水	0	3億2,106	100↓	
	戸別浄化槽	3,952	1億2,776	69.1↓	
	霊園	1,509	1,501	0.5↑	
	介護保険(事業)	39億7,978	40億011	0.5↓	
	介護保険(サービス)	896	790	13.5↑	
	小計	343億271	324億433	5.9↑	
	企業会計	水道	収益的収入	9億8,215	8億5,408
収益的支出			8億7,153	8億5,324	2.1↑
資本的		収入	4億8,849	7億202	30.4↓
		支出	9億8,100	10億3,002	4.8↓
下水道		収益的収入	15億7,196	11億8,896	32.2↑
		収益的支出	15億1,793	11億4,673	32.4↑
		資本的収入	13億880	12億9,881	0.8↑
		資本的支出	17億9,173	16億8,615	6.3↑
小計		収入	43億5,141	40億4,388	7.6↑
		支出	51億6,220	47億1,615	9.5↑
歳入(収入)計	386億5,413	364億4,821	6.1↑		
歳出(支出)計	394億6,492	371億2,049	6.3↑		

単位:万円

予算の5つの基本目標
チェック

1 みんなの力で磨くまちづくり

- ・ふるさと寄附金事業
- ・電子回覧板導入モデル事業
- ・地域おこし協力隊の導入 など

2 人を育てる学びの場づくり

- ・第2子以降保育料無償化
- ・学校施設環境の整備
- ・中学校給食費の無償化
- ・出産祝い金事業 など

3 誰もがいきいきと暮らせる社会づくり

- ・妊産婦のタクシー利用料助成事業
- ・18歳までの医療費の無償化
- ・小児慢性特定疾病見舞金の支給
- ・外出支援サービス事業 など

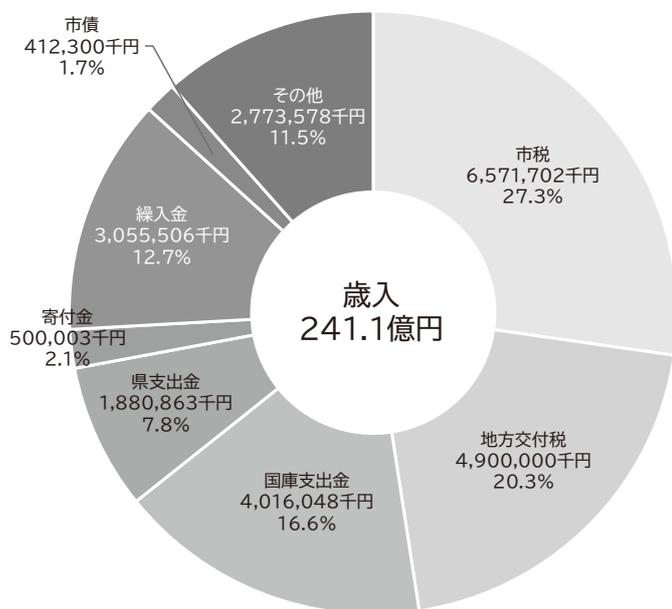
4 仕事と暮らしを創造する環境づくり

- ・新交流拠点の整備に向けた調査
- ・茨城空港周辺地域への企業誘致 など

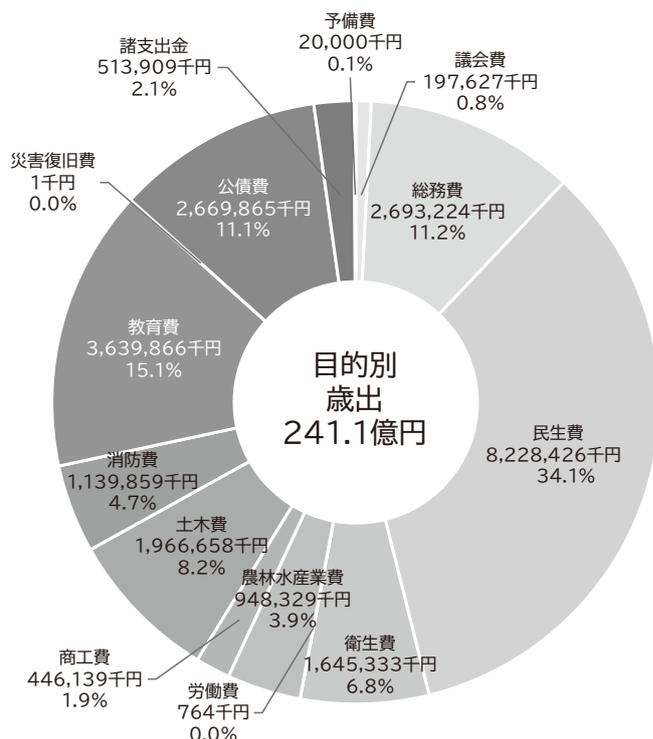
5 安全・安心な生活を支える体制づくり

- ・電気自動車、電気充電スタンドの導入
- ・高規格救急自動車更新事業 など

【一般会計歳入】

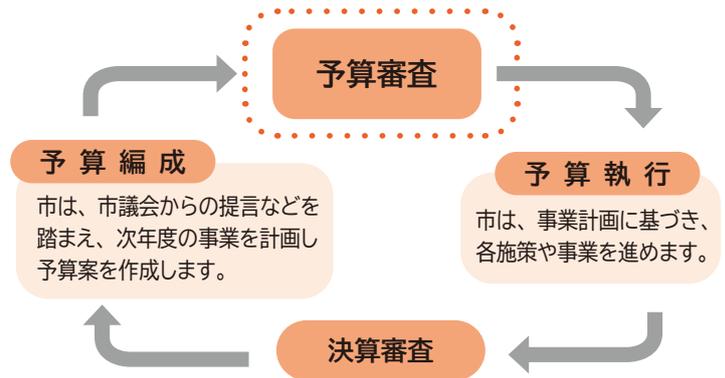


【一般会計歳出】



予算特別委員会では、付託された令和6年度予算案について、市議会が「市民の税金がどのようなことに使われるのか」「この事業で期待される効果は」「この経費は必要な経費なのか」などの観点から、質疑が行われ、慎重に審査をしました。委員間での討論・採決の結果、全ての議案が可決され、本会議に送られました。

ここでは、新年度予算案に対して、委員会での質疑の一部をご紹介します。



予算編成

市は、市議会からの提言などを踏まえ、次年度の事業を計画し予算案を作成します。

予算執行

市は、事業計画に基づき、各施策や事業を進めます。

決算審査

予算議案

ふるさと寄附金事業 予算額 277,415 千円

議員

Q

- ・ふるさと応援基金増収の根拠と追加の返礼品に対する考え方の説明を求める。
- ・令和6年度のふるさと寄附金の寄附件数及び寄附額の具体的な目標値は。

市担当課

A

- ・令和5年度は、ポータルサイトや返礼品を大幅拡充したことにより増収できた。返礼品は、茨城県共通返礼品をはじめ魅力ある地場産品の返礼品を増やしていきたい。
- ・令和6年度寄附件数は33,000件を見込み、寄附金額は5億円以上の寄附額を目指していく。



▲採決の様子（3月12日）

予算議案

公共交通推進事業公共交通ネットワーク
システム運行事業委託料 予算額 57,277 千円

議員

Q

昨年この事業については、事務事業評価において外部の審議審査を受けC判定とされたが、なぜ現状維持の状況となっているのか。

市担当課

A

コミュニティバス運行业務については、令和6年4月から運行計画を改正する。主な内容は利用者の少ないルート廃止、日曜日運行の減便、利用者の多いルートの増便、JR高浜駅への延伸のほか一部運賃を改正する。予算は人件費や燃料費等の影響もあったが、収支の改善等を図るため、運行計画や運賃を見直した結果によるもの。

予算議案

小学校施設管理費 予算額 897,376 千円

議員

Q

旧小川小学校、旧玉里北小学校、旧玉里東小学校校舎や体育館解体のスケジュールについて伺う。また、体育館やグラウンドを使用している団体等への周知と代替活動場所等の案内を要望する。

市担当課

A

工事着手時期は、旧小川小学校、旧玉里北小学校が令和6年7月頃、旧玉里東小学校は令和6年6月頃を予定している。3つの小学校の工事完了時期は、令和6年度内を予定している。

令和6年 第1回定例会 審議結果等一覧（全43件）

議案番号	案件名	内容	付託委員会	審議結果
■条例（18件）				
6	小美玉市医療費助成に関する条例の制定について	子どもの医療費の自己負担分を全額助成する施策を実施するため、制定するもの	文教福祉	原案可決
7	小美玉市基金条例の一部を改正する条例について	脱炭素化に資する公共施設等の整備に要する経費に充てることを目的とする新たな基金を設置し、また、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、完了する事業の基金を廃止するため、所要の改正を行うもの	総務	原案可決
8	小美玉市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の公布等に伴い、所要の改正を行うもの	総務	原案可決
9	小美玉市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	地方自治法の改正に伴い、会計年度任用職員へ勤勉手当を支給するため、所要の改正を行うもの	総務	原案可決
10	小美玉市医療センター地域医療存続運営評価委員会条例の一部を改正する条例について	庶務の所管替えを行うため、所要の改正を行うもの	文教福祉	原案可決
11	小美玉市介護保険条例の一部を改正する条例について	介護保険法の改正及び第9期小美玉市介護保険事業計画の策定に伴い、所要の改正を行うもの	文教福祉	原案可決
12	小美玉市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	介護保険法及び関係政省令の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの	文教福祉	原案可決
13	小美玉市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	介護保険法及び関係政省令の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの	文教福祉	原案可決
14	小美玉市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	介護保険法及び関係政省令の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの	文教福祉	原案可決
15	小美玉市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	介護保険法及び関係政省令の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの	文教福祉	原案可決
16	小美玉市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	こども家庭庁設置法及びこども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律等の施行に伴い、所要の改正を行うもの	文教福祉	原案可決
17	小美玉市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	こども家庭庁設置法及びこども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律等の施行に伴い、所要の改正を行うもの	文教福祉	原案可決
18	小美玉市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	放課後児童健全育成事業の実施に係る通知改正に伴い、所要の改正を行うもの	文教福祉	原案可決
19	行政組織機構改革に伴う関係条例の整理に関する条例について	小美玉市行政組織機構の見直しに伴い、関係条例の整理を行うもの	文教福祉	原案可決
20	小美玉市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	学校運営協議会委員の報酬額を見直すことによって、他市町村との均衡を図り、学校運営協議会委員の充実強化に資するため、所要の改正を行うもの	文教福祉	原案可決
21	小美玉市給水条例の一部を改正する条例について	生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律の施行等を踏まえ、所要の改正を行うもの	産業建設	原案可決
22	小美玉市青少年問題協議会設置条例を廃止する条例について	青少年問題協議会の役割については、社会教育委員、青少年相談員及び青少年を育てる小美玉市民の会等へ引き継がれていることから、条例を廃止するもの	文教福祉	原案可決
43	小美玉市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例について	重度心身障害者等に対する医療福祉制度の対象区分を拡充するため、提出するもの	—	原案可決

議案番号	案件名	内容	付託委員会	審議結果
■補正予算（10件）				
23	令和5年度小美玉市一般会計補正予算（第8号）	[補正額] 1億3,322万2千円 [補正後額] 249億2,960万1千円	各委員会	原案可決
24	令和5年度小美玉市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	[補正額] △183万6千円 [補正後額] 52億8,228万6千円	文教福祉	原案可決
25	令和5年度小美玉市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第3号）	[補正額] △26万3千円 [補正後額] 6億9,369万5千円	文教福祉	原案可決
26	令和5年度小美玉市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	[補正額] △306万4千円 [補正後額] 3億2,079万9千円	産業建設	原案可決
27	令和5年度小美玉市霊園事業特別会計補正予算（第2号）	[補正額] △289万6千円 [補正後額] 1,233万1千円	総務	原案可決
28	令和5年度小美玉市介護保険特別会計補正予算（第3号）	【保険事業】 [補正額] △1億2,365万6千円 [補正後額] 41億8,092万8千円	文教福祉	原案可決
29	令和5年度小美玉市水道事業会計補正予算（第3号）	【資本の収入及び支出】 収入 [補正額] △1億1,470万円 [補正後額] 5億8,732万円 支出 [補正額] △5,738万2千円 [補正後額] 9億7,264万円	産業建設	原案可決
30	令和5年度小美玉市下水道事業会計補正予算（第4号）	【収益の収入及び支出】 収入 [補正額] △189万9千円 [補正後額] 12億9,179万1千円 支出 [補正額] △685万2千円 [補正後額] 12億4,893万9千円 【資本の収入及び支出】 収入 [補正額] △1億2,939万1千円 [補正後額] 12億1,792万5千円 支出 [補正額] △1億2,627万6千円 [補正後額] 16億838万3千円	産業建設	原案可決
44	令和5年度小美玉市一般会計補正予算（第9号）	[補正額] 1,852万5千円 [補正後額] 249億4,812万6千円	—	原案可決
45	令和6年度小美玉市一般会計補正予算（第1号）	[補正額] 2億6,201万9千円 [補正後額] 243億7,201万9千円	—	原案可決
■当初予算（3件）				
34	令和6年度小美玉市戸別浄化槽事業特別会計予算	予算総額 3,952万7千円（前年度比：△69.1%）	予算特別	原案可決
35	令和6年度小美玉市霊園事業特別会計予算	予算総額 1,509万円（前年度比：0.5%）	予算特別	原案可決
38	令和6年度小美玉市下水道事業会計予算	【収益の収入及び支出】 収入額 15億7,196万1千円（前年度比：32.2%） 支出額 15億1,793万5千円（前年度比：32.4%） 【資本の収入及び支出】 収入額 13億880万3千円（前年度比：0.8%） 支出額 17億9,173万6千円（前年度比：6.3%）	予算特別	原案可決

議案番号	案件名	内容	付託委員会	審議結果
------	-----	----	-------	------

■その他（5件）

39	財産の取得について	茨城空港周辺整備事業用地として、茨城県の土地及び工作物を取得するにあたり、地方自治法及び市条例の規定に基づき提案するもの	産業建設	原案可決
40	公の施設の広域利用に関する協議について	小美玉市と水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、茨城町、大洗町、城里町及び東海村との間において協定を結んでいる公の施設の広域利用について、対象施設の変更に伴い、改めて協定を定めるもの	総務	原案可決
41	市道路線の認定について	開発による宅地分譲等に伴い造成された道路を市道江戸1374号線として認定するもの	産業建設	原案可決
42	市道路線の廃止について	用途廃止申請に伴い上玉里地区1路線の廃止を提案するもの	産業建設	原案可決
46	工事請負契約の変更契約の締結について	美野里中学校体育館長寿命化改修工事の請負契約の変更契約を締結するもの	—	原案可決

■発議（1件）

1	小美玉市議会委員会条例の一部を改正する条例について	常任委員会所管事項の一部を改正するもの	—	原案可決
---	---------------------------	---------------------	---	------

■【賛否が分かれた議案等】（6件）

※賛否が分かれた議案等の採決には、議長は参加しません

No	議案に対する賛否 賛成：○ 反対：●																					付託委員会	審議結果
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
31	令和6年度小美玉市一般会計予算	予算総額 241億1,000万円（前年度比：9.6%）																		予算特別	原案可決		
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○
32	令和6年度小美玉市国民健康保険特別会計予算	予算総額 54億1,149万2千円（前年度比：3.2%）																		予算特別	原案可決		
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○
33	令和6年度小美玉市後期高齢者医療保険特別会計予算	予算総額 7億3,785万円（前年度比：7.0%）																		予算特別	原案可決		
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○
36	令和6年度小美玉市介護保険特別会計予算	【保険事業】 39億7,978万8千円（前年度比：△0.5%） 【介護サービス】 896万9千円（前年度比：13.5%）																		予算特別	原案可決		
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○
37	令和6年度小美玉市水道事業会計予算	【収益的収入及び支出】 収入額 9億8,215万4千円 支出額 8億7,153万4千円（前年度比：△5.5%） 【資本的収入及び支出】 収入額 4億8,849万9千円 支出額 9億8,100万2千円（前年度比：△1.6%）																		予算特別	原案可決		
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○

陳情1	「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の陳情書	陳情者：茨城県労働組合総連合	議長：鈴木 貴之	産業建設	不採択																
		○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●

子育て世帯臨時応援給付金支給事業 補正予算可決

第1回臨時会
1月24日

<一般会計補正予算の主な内容>

●価格高騰重点支援給付金事業（均等割のみ課税世帯・子育て世帯加算）について

低所得者支援を補足する給付として、住民税均等割のみ課税世帯1世帯あたり10万円を、住民税均等割非課税世帯と住民税均等割のみ課税世帯と同一の世帯に属する18歳以下の子ども1人あたり5万円を、追加給付するもの

●子育て世帯臨時応援給付金支給事業

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受ける子育て世帯に対し、経済的負担を軽減するため臨時給付金を支給するもの

令和6年1月24日に令和6年第1回臨時会が開催されました。市長より条例の改正3件、一般会計補正予算1件、下水道事業会計補正予算1件の計5議案が上程され、審議の結果、全議案について全会一致で可決されました。



▲本会議での審議の様子

令和6年 第1回臨時会 審議結果等一覧（全5件）

番号	案件名	内容	付託委員会	審議結果
■条例（3件）				
1	小美玉市印鑑条例及び小美玉市手数料の特例に関する条例の一部を改正する条例について	電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの	—	原案可決
2	小美玉市手数料条例の一部を改正する条例について	地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部を改正する政令等の公布に伴い、所要の改正を行うもの	—	原案可決
3	小美玉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律、関係政令及び地方税法の改正に伴い、所要の改正を行うもの	—	原案可決
■補正予算（2件）				
4	令和5年度小美玉市一般会計補正予算（第7号）	[補正額] 5億 2,168万8千円 [補正後額] 247億 9,637万9千円	—	原案可決
5	令和5年度小美玉市下水道事業会計補正予算（第3号）	【収益的収入及び支出】 収入 [補正額] 1億500万円 [補正後額] 12億9,369万円 支出 [補正額] 1億500万円 [補正後額] 12億5,579万1千円 【資本的収入及び支出】 収入 [補正額] 4,850万円 [補正後額] 13億4,731万6千円 支出 [補正額] 4,850万円 [補正後額] 17億3,465万9千円	—	原案可決

小美玉市議会は3つの常任委員会（総務・文教福祉・産業建設）を設置しています。
議員はいずれかの委員会に属して議案審査にあたります。3月定例会の議案審査の概要は次のとおりです。

◎は委員長、○は副委員長

総務

（委員） 津家川 崎田
◎長 真荒山 戸鬼
○

◆ 令和5年度 小美玉市一般会計補正予算

【議案第23号】

問 広報活動経費の印刷製本費が200万円減額となり当初予算の4分の3程度に収まった理由は、主な要因としては、入札により印刷の1ページ当たりの単価契約が下がったことによるものである。

◆ 令和5年度 小美玉市一般会計補正予算

【議案第23号】

問 公共バス運行管理業務委託料で364万3,000円の減になっているが減額の理由は、

答 運転手等の不測の事態によって運行業務ができなかった際の委託で見込んでいた。実際、運行業務を委託することがなかったということと、不測の事態に備えて残しておく必要があるということでの補正上となっている。

◆ 令和5年度 小美玉市一般会計補正予算

【議案第23号】

問 グラウンド維持管理委託料が411万3,000円減額になっているが、契約が終了したのか。

答 今までは借地契約であったが、借地を返還した。地目は山林となっており、返還の際、杉苗を植える予定であったが、所有者からの要望により実施しないことに伴う減額である。



▲ 3月13日

文教福祉

（委員） 井田 榎 仲木 田内
◎石島 大谷 鈴 内宮
○

◆ 令和5年度小美玉市一般会計補正予算

【議案第23号】

問 元気わくわく支援事業のひとり暮らし老人「愛の定期便」*の利用人数を伺う。

答 令和5年度利用見込み数は67名
要望 さらに利用者が増えるように周知徹底を要望する。

*愛の定期便：ひとり暮らしの在宅高齢者を対象に自宅へ乳製品を手渡し配付することにより、安否確認や健康保持、孤独感の解消を図る事業

◆ 令和5年度小美玉市一般会計補正予算

【議案第23号】

問 家庭教育推進事業における訪問型家庭教育支援の実績見込み件数はどれくらいか。

答 個別に相談希望があったのは8件で、支援員が相談支援活動を実施した。

◆ 令和5年度小美玉市一般会計補正予算

【議案第23号】

問 放課後児童対策事業補助金が約1,100万増額した理由について伺う。

答 1クラス分約30人増えたことによる増額である。



▲ 3月14日

産業建設

（委員） 田島 村 村本 取
◎村 福 市 田 岩 香
○

◆ 小美玉市給水条例の一部を改正する条例について

【議案第21号】

問 水道法等の権限が、厚生労働大臣から国土交通大臣及び環境大臣に移管されるのか。

答 社会資本整備や災害対応に関する専門的な能力を見を有する国土交通省に移管、河川等の環境中の水質に関する専門的な能力を有する環境省に移管することになる。

◆ 令和5年度小美玉市一般会計補正予算（第8号）

【議案第23号】

問 環境保全型農業直接支払交付金の概要と減額の理由は、

答 地球温暖化防止、生物多様性保全に効果の高い営農活動（有機栽培・減農薬）に取組んだ農業団体に対して補助を行うもの。減額理由は事業費確定によるものである。

◆ 令和5年度小美玉市一般会計補正予算

【議案第23号】

問 儲かる農地産地支援事業の概要と減額の理由は、

答 先端技術の導入や高品質安定生産の拡大に取組んだ農業者に対して補助する事業である。減額理由は事業費確定によるものである。



▲ 3月15日

代表質問 3 会派 個人質問 11 名



市政を質す！

- P 10 真政会
- P 11 創生小美玉
令和会
- P 12 真家 功
香取 憲一
- P 13 鬼田 岳哉
宮内 勇二
- P 14 谷仲 和雄
内田 和彦
- P 15 戸田 大我
鈴木 俊一
- P 16 山崎 晴生
福島 ヤヨヒ
- P 17 石井 旭

※質問順

※一般質問の掲載記事は議員本人が作成しています。

●一般質問とは

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して行う質問です。

個人質問：議員個人の立場で質問するもので、各定例会毎に行われ、時間は 40 分以内（執行部答弁は除く）となっています。

代表質問：3 人以上の所属議員を有する会派の代表者が、会派を代表する質問を行うもので、毎年 3 月定例会で行われており、時間は 40 分以内（執行部答弁は除く）となっています。

代表質問

おみたまっ子応援パッケージは時代のニーズに沿った施策となるか

ニーズを適宜把握し、パッケージメニューの充実を図っていく



真政会



村田 春樹

Q 「おみたまっ子応援パッケージ」はどのような財源を活用して行うのか。

A 市長 国や県の補助金のほか、市外の方々から寄せられたふるさと寄附金を活用していく。

Q パッケージの自身は今後さらに増えていく予定はあるのか。

A 市長 妊産婦や子育て世帯等の課題やニーズを適宜把握し、国・県等の動向を注視しながら、財源を確保した上で、メニューの充実を図っていく。

Q 地域コミュニティ活動を後押ししていくとあるが、市内での地域コミュニティ参加率が減少傾向にある中、今後どのように考えているのか。

A 市長 コミュニティ参加については、チラシやコミュニティの広報紙を作成し、イベントや活動内容の周知を行い、地域の方々がコミュニティ活動を理解し、興味を持ち、参加していただける持続可能なコミュニティ活動を目指し、参加率の向上を図っていく。

Q 防災対策の充実について、未曾有の災害に対して日頃からの訓練が重要である。市内に百里基地があるので、自衛隊と連携した訓練を今後考えていく必要性を提案する。

A 市長 1月1日発生の能登半島地震にも、自衛隊の災害派遣活動が大きな役割を果たした。また、東日本大震災時には、派遣要請に基づく隊員派遣のほか、飲料水や毛布など、様々な救援物資の支援があった。今後も、国や県をはじめ自衛隊との連携を強化していく。

Q 商業・工業の振興・企業誘致の推進について

A 市長 朝日航空株式会社社メンテナンセンターの移転に伴い、従業員などが本市へ移住となれば人口減少対策が図られ、税収の増加や産業の振興など、本市の発展に大きな効果があると期待している。従業員に、本市が有する地域資源及び住宅取得に対する支援や子育て支援などの魅力を知ってもらい、居住先に選んでもらえる取組が重要であると考えている。



長津 智之



創生小美玉

未来を担う子ども達に切れ目のない支援を!!

切れ目のない支援を一体的に実施する「おみたまっ子応援パッケージ」を掲げる

Q 結婚、妊娠、出産、子育て、教育までの一体的に実施する「おみたまっ子応援パッケージ」の3本柱とは何か伺う。

A 市長 未来を担う子ども達への支援対策として、「第2子保育料の無償化」「中学校給食費の完全無償化」「0才から18才までの医療費の無償化」を実施すると共に、子ども子育ての各施策を強力に推進していく。

Q 台湾との交流、友好都市締結に向けて今後どのように進めていくのか伺う。

A 市長 茨城県をはじめ県内各市町村で台湾の都市と交流する機運が高まっている。本市は、昨年より、新北市淡水区との交流に向けて意見交換を行った。淡水区と観光、文化芸術、産業、教育など幅広い交流を通じて連携を深めていく。今年中に友好都市の覚書を締結する予定である。

Q 開かれた行政を目指す中で、電子回覧板の導入

であるが、行政区の運営負担の軽減や迅速な情報共有につながるためには効果的である。導入に向けてその実施内容について伺う。

A 市長 電子回覧板の導入に向けてモデル事業の実施内容は、小川、美野里、玉里の各地区から、それぞれ一行政区のモデル地区を選択し、電子回覧板の利便性や効果等、導入に伴う問題などを検証していく。

【会派 創生小美玉より要望】 令和6年度小美玉市政が、住民福祉のさらなる向上を図っていくことを期待している。地方自治体の一歩の存在意義は、そこに住む住民の生活を支えることである。まさしく、島田市長の市政運営に臨む所信及び市政の基本方針が小美玉市民への行政サービスである。このすばらしい計画が絵に描いた餅にならないように、公正公平に、そしてスピード感を持って執行していただきたい。

定住人口対策の具体的目標設置を要望する

より効果的に施策の推進を図る様方向性とビジョンを策定していく



香取 憲一



令和会

Q 財政健全化とスマート自治体の推進において、人件費削減の具体化とその成果に対する客観的分析の必要性について

A 市長 定員適正化計画において計画的に目標職員数を定め、人員配置の成果となる業務効率や行政ヒアリングを実施して

適正な定員管理と人員配置に取り組み、人件費抑制に努めていく。

Q 台湾との交流について

A 市長 淡水区の上都府政組織である新北市とも交流を深め、友好関係の構築に努める。

Q 子ども家庭センターの始動体制は万全か。

A 市長 センター長及び統括支援員・保健師・助産師・社会福祉士・子ども家庭支援員・母子父子自立支援員等の専門職配置をもってスムーズなセンター開設に向けて準備を進めている。

Q 地域医療の充実において在宅医療取り組みの進捗状況は。

A 市長 第8次茨城県保健医療計画において積極

的に役割を担う医療機関として、やまぐち医院・小川南病院・小美玉市医療センターを各々位置付けし、地域医療・在宅診療提供体制の充実に向け取り組んでいく。

Q 通学路安全プログラム

A 市長 現在まで79%の整備は完了しているが、未完の箇所も可能な限り早期に完了できる様、また新たな危険箇所が確認された場合においても迅速な対応ができる様調整を図り、子ども達の安全確保に努めていく。

Q 消防・救急体制の充実について、老朽化した消防本部を永年にわたる借地体制の解消も含めて押し進めるべきではないのか。

A 市長 消防・救急体制の見直しは検討すべき重要な事項であり、強固な消防救急体制の構築に向けて市民や消防団員の意見を賜りつつ、共有した理解のもと具体的検討につなげていく。

「文化遺産の保護活用事業について」：
令和5年度実施状況と新年度事業推進に係る予算は

文化財の案内板説明板など看板 152 基の調査を実施し、一部改修した新年度は、文化財案内板等の更新及び本間玄琢生家のかやぶき屋根の一部ふき替えを行う



真家 功



Q 令和5年度予算文化財調査・管理費の実施状況について、どのように行ってきたのか伺う。指定文化財の保存管理については、合併して18年目を迎えようとしているが、いまだに旧町村の説明板のまま、しかも劣化したり、破損したりしている状況になっている。さらに、指定文化財をはじめとする市内文化遺産の案内サインが整っていない状況である。特に指定文化財になっている喜八阿弥陀堂については、親鸞生誕850年ということもあり、見学や視察に訪れる人が多くなると思う。ぜひ所有者と協議の上、ベストな形で見学できるように環境整備をお願いしたい。喜八阿弥陀堂は、茨城県指定文化財になっており、親鸞聖人真筆3幅として阿弥陀如来像、善導大師像、聖徳太子像が堂宇内に保存されていると思うが、境内は荒廃しており、親鸞聖人御腰掛石も雑草の中に埋もれている状況である。本市の数少ない県指定文化財や親鸞聖人ゆかりの地を紹介するには甚だ残念な現状である。それらを踏まえ、文化財調査・管理費の実施状況について、どのように行ってきたのか伺う。

A 文化スポーツ振興部長 指摘を踏まえ文化財の案内板、説明板など、看板152基の調査を実施した。調査の結果、老朽化などにより更新等が必要な看板は48基あり、また、旧町村名が残っている看板は、説明板58基、標柱51基の計109基を確認した。それぞれ計画的な更新及び修繕に取り組んで行く。そのうち、今年度については、劣化の状況などから上馬場の鹿島神社と小川天聖寺に設置された説明板の撤去と新設の工事、泥障塚古墳群第3号墳の説明板の修繕を実施した。また、旧町村名の修繕については、現在までに15基の作業を終えている。

その他の質問
若年層有権者の投票率向上のための、啓発ならびに投票所等環境整備について

ふるさと納税令和6年度も目標達成・躍進を期待する

令和5年度に続く目標達成と地域経済のさらなる活性化につなげていく



香取 憲一



Q ふるさと納税、令和5年度の実績と課題、6年度に向けての意気込みを伺う。

A 副市長 令和5年度のふるさと納税の実績は3月末のまでに目標額である5億円をほぼ達成に近づき実績となり、これはサイト数を3から10サイトに、返礼品数を236から400品目に拡充し、プロジェクトチームを中心とした全庁的な協力体制をもって成し得た結果と考えている。課題としては返礼品業者への支援体制が挙げられ、企業版ふるさと納税の人材派遣型の導入検討、専門的人材の活用を通して体制の強化を行い令和6年度も更なる寄付額増額に向け努めていく。

Q 業務継続計画(BCCP)の市役所各部署への周知状況と訓練の重要性について

A 市民生活部長 ビジネスチャットやコンビニでの証明書発行等、災害時の対応を想定した取り組み等、意識は職員に浸透していると考えるが、計画策定から2年が経過し現状との整合性を確認する必要性と重要性を改めて認識し、令和6年度は訓練とシミュレーションを実施して体制の強化を行なっていく。

Q 福祉避難所の開設における小美玉市の現状と課題について

A 福祉部長 現在市では福祉避難所の設置運営に関する協定は8法人15施設と提携しているが、これまで福祉避難所の開設実績はない。対象者は身体状況が福祉施設や医療機関に入所入院に至らない在宅の支援者であるが、避難所生活を特別な配慮が必要な方を市より施設へ受け入れの要請を行う事になっている。

Q もし福祉避難所が開設される場合において対象者の個別避難計画が重要となるが、市の個別避難計画策定の現状を伺う。

A 福祉部長 令和5年11月末で個別避難計画策定完了数は384名。前述の協定締結の8法人15施設は協定は締結していても現時点では実際の災害時に被災状況により指定避難所に指定できるとは限らないため、個別避難計画の対象者の把握と策定に努め、災害時の指定された福祉避難所の周知と調整を今後図っていく。



キャトル・セゾンの施設利用方針は

行政ニーズの高い部門での利用を検討

鬼田 岳哉



Q 救急出場の件数が大幅に増加している。救急体

協議中である。行政ニーズの高い部門においての有効活用に向け

Q 経年の浅い施設であることから、補助金返還のリスクを軽減したうえで、市民生活の向上に資するよう施設利用を提案する。



▲現在のキャトル・セゾンの様子

Q 小美玉市美野里地域食料供給施設、いわゆる「キャトル・セゾン」について、市と施設の関係性は？

A 産業経済部長 高付加価値農業の展開を目的として、旧美野里町が整備した市所有の施設である。施設使用者には、100万円を出資しているが、業績悪化の末、解散に至ったことから、清算金は16万9千円となった。

Q 経年の浅い施設であることから、補助金返還のリスクを軽減したうえで、市民生活の向上に資するよう施設利用を提案する。

A 産業経済部長 行政施設として貸出す場合、財産処分の対象とならず、補助金2400万円の返還義務は発生しない見込み。飲食店としての活用は困難であることから、行政ニーズの高い部門においての有効活用に向け協議中である。

Q 救急出場の件数が大幅に増加している。救急体制のひつ迫状況を改善するため、市HPや防災無線を通じての、市民に対する積極的な広報活動を提案する。

A 消防長 現状、市民の「ためらい」を生まないためにも、救急搬送の有料化は行わない方針である。救急車の適正利用に向け、広報活動を行っていく。

Q 小美玉市におけるハラメント対策は？

A 総務部長 eラーニング等の研修や相談窓口の設置等を行い、職場環境の整備に努めている。直近1年において、対処委員会の設置や、ハラメントに起因する退職者・休職者は発生していない。

小美玉市の農業の今後

ブランド化の成功と遊休農地の発生防止・解消に向けて

宮内 勇二



Q 令和6年度小美玉市農産物等ブランド化推進協議会の方針について

A 産業経済部長 農産物の付加価値向上による安定的な経営基盤の強化を目的としているが、常に消費者のニーズや変化に対応していくために幅広いご意見に耳を傾けながら、迅速かつ柔軟に対応できる体制の構築に努めていく。

【提案】他地域をみると多額の予算を投資したが失敗した例もある。市が一定の基準を設定して選定するのはどうか？既存の農産物だけにとらわれず新たに農産物ブランドを自治体主導で作り上げていくのもいいのではないかと？

Q 遊休農地の発生防止・解消について

A 産業経済部長 農地の地権者や担い手等の話し合いの中で、農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積と集約化を進め、10年後の地域を見据えた目標地図を作成するなど、遊休農地の発生防止や解消に努めながら基盤整備も含めた遊休農地の活用についても協議を行っていく。

【要望】 農家の高齢化と後継者不足は喫緊の課題であるため、若年層を取り込む方策を早急に考え、実行していただきたい。

Q 将来の担い手に魅力ある農業にするための支援策について

A 産業経済部長 魅力ある農業を実現するために長期的に安定した所得を確保できる農業経営が最も重要であると考えており、生産性を高めるための基盤設備や、スマート農業の普及支援、先端技術の導入支援など、担い手の確保と定着を推進していく。

中期財政見通しは

「歳出見込額」が「歳入見込額」を上回る状況



谷仲 和雄



Q 中期財政計画の概要と課題は。

A 市長 中期財政計画は総合計画を財政的に補完し、かつ主要事業の計画を策定していく際の指針とするもので、今後5か年の歳入歳出の一般財源額を試算するもの。課題は歳出見込額が歳入見込額を超過し補填財源として財政調整基金等から繰入れる計画となっていること。

Q 市税収入の大幅な増加が見込めない状況において膨らむ予算額と標準財政規模との乖離を意識するのであれば、新しい施策・事業を打ち出すのと並行し、普通交付税の基準財政需要額に算定されない市単独事業を見直していく作業が必要となる。現状、この「スクラップ・アンド・ビルド」が出来ていないが所見は。対策を講じなければ、歳出超過額に対し財政調整基金繰入金で賄うにも限界が

やってくる。このままの事業拡大路線で小美玉市の財政運営は持ち応えられるのか確認したい。

A 市長 基準財政需要額に含まれない市の単独事業等においては、行政評価外部評価委員会、補助金等審議会などの答申等に基づき検証・見直しを行なう。必ずしも事業費の減額等に結び付くわけではないが、事業内容の確認、実施方法の整合などを再検証する機会となっている。また、事業規模における財源・期間等の検証・見直しを行なう。いずれにしても、市政運営において安心・安全な財政運営は必至と認識している。一方、閉塞感漂う社会情勢の中で、市民に夢や希望を持つってもらう施策も大切であり、そのバランスの舵取りをしっかりと取っていきたい。ふるさと納税や企業誘致などで税収も上げていく。

投票しやすい環境整備・支援の推進を

早期導入に向けて準備を進める



内田 和彦



Q 投票しやすい環境整備投票支援について、（高齢者・障がい者）にサポートする投票支援カードとイラストや文字を指でさして困っている事を伝えるコミュニケーションボードの導入の推進を求めます。

A 総務部長 投票者の中には、自身の不自由な点、援助いただきたい点などを言葉に出して伝えることに抵抗を感じる方や、どのような手助けがうけられるのかご不明な方などがいらっしゃることも想定される。そのような観点から、「支援カード」や「コミュニケーションボード」の活用は、非常に効果的な手段であると認識している。本市としても市民が使いやすい、わかりやすい内容のものを作成し、早

期導入に向けて準備を進めてまいりたいと考えている。

Q コロナ禍前後において社会全体の流れの変化に対応した教育現場の対応は如何に。

A 教員長 大きく変化したのはICTの活用である。タブレットが導入されICTを活用した授業が行われ児童生徒は授業や家庭学習で、タブレットを自由に使えるようになった。

Q 子ども子育て支援の充実について。

A 福祉部長 子ども家庭センターの設置の努力義務化を受けR6年4月に小川保健相談センター内に「こども家庭センター」を設置する。



短期間に何度も火災を発生させている企業への指導について

適切な指導を行い、指導に応じない場合には、警告・命令・告発の行政措置を行う

戸田 大我



- Q** 企業火災への対応について問う
- ①短期間に何度も火災を発生させている企業への改善指導等は。
- ②より強力な防災のための勧告や警告などの対応は。
- A** 消防長 短期間に何度も火災を発生させてしまう企業については、従業員の防火意識の低下が考えられ、防災意識の向上を主眼に従業員への適切な教育・訓練の実施を求め、企業と従業員が一体となって火災リスクを共有し、再発防止及び適切な対策を講じるよう指導している。その他の対応として、定期的に立ち入り調査を行い、法令違反が認められた場合には、都度是正指導をしている。なお、指導に応じない場合には、違反処理規程に基づき、警告・命令・告発の行政措置を行っていく。
- Q** 災害に備えるための対策、災害時の対応・体制について問う
- ①能登半島地震のような人知を超える自然災害への対応について市の計画を見直す作業は予定しているか
- ②市の防災上重要な建築物等の耐震化の現状について
- ③災害時の罹災証明書の発行体制について
- ④避難所において性被害を受けやすいとされている女性への配慮について
- ⑤災害関連死のうち割合の多い在宅の高齢者・身体障がい者などの災害弱者の方の安否確認や災害関連死を防ぐための課題は
- A** 市民生活部長
- ①今回の地震に関して、国・県の防災基本計画・地域防災計画等が改正された際には、関連する計画の改訂を速やかに行う。
- ②学校や庁舎、文化センターは耐震化が完了している。
- ③国・県などを通じて全国の自治体職員に依頼し支援をお願いすることになる。
- ④女性専用のトイレや洗濯物干し場、更衣室、授乳室などの専用スペースを設置し、居住スペースへの間仕切りの設置、防犯ブザーを配布するなどの対策を講じる。
- A** 福祉部長
- ⑤停電・市内インフラの崩壊、大規模な災害に直面した場合の安否確認は対応する人員の不足などで対応が難しくなることが想定される。自助・共助などコミュニケーション単位での支援が重要であると認識をしている。

児童生徒の学力向上への取り組みは

授業改善と家庭学習の充実に努めている



鈴木 俊一



- Q** 部活動の現状と課題は
- A** 教育部長 部活動には参加せず地域のクラブで活動するなど多様化が進んでいる。小川南中学校では剣道部、小川北義務教育学校ではソフトテニス部、玉里学園義務教育学校では卓球部が、すでに休日の部活動を地域の指導者が行っている。美野里中学校では、陸上競技部が2月から開始をしている。課題は、持続可能な指導者の確保の難しき、中体の総体や新人戦への参加の方法、地方大会及び練習試合など、検証を行いながら、地域移行を進めている。部員数の減少により合同チームを編成するなど、生徒ニーズに応じた多様な活動ができるように検討を続け地域移行の早期実現を目指していく。
- Q** 学力向上に向けて
- A** 教育部長 従来のような教師が教える一斉授業から脱却し、児童生徒が主体的に学び合う授業への転換を図っている。グループ学習やICTを活用するなど工夫をしながら授業改善に努めている。持ち帰ったタブレット端末を使ってデジタルドリルでの学習内容の復習や授業で発表するスライドの作成など、授業と家庭学習につながる学びを目指している。
- Q** 消防団の現状と課題は
- A** 消防長 近年、災害は激甚化、大規模化の様相を呈している。市民の安心・安全に対する関心は高まっており、災害対応を担う消防団の役割はより一層期待されている。消防団員数は条例数は550名となっているが、現在477名、うち5名が女性団員である。課題は、消防団員の確保にある。消防団員は減少傾向にあり、ここ10年間で約100名減少している状況で、団員の平均年齢も43歳となり、高齢化も進んでいる。

不登校児童に対する支援強化を求める

来年度より校内フリースクールの設置を順次進め強化を図る



山崎 晴生



Q 現在の教育支援センター運営の課題と問題点について

A 教育長 曜日によって、教育相談員が2人で対応する日もあり教育相談員の負担感が大きいことが課題となっている。学習支援の時間は様々な学年の児童を個別に指導する必要があり。活動実施上の安全面の配慮事項など多岐に渡るため、より充実した支援を継続するためにも、教育相談員の適切な人数を検討した上で人員の確保に努めていく。

【提案】

①それぞれ家庭事情には違いがあるので、幅広い範囲で使える不登校の子どもたちを抱える家庭への助成金支援を提案する。

②県内大学との連携を構築し、小美玉市の教育支援センターへ教職員を目的とする学生の採用を提案する。

Q 現在の救急隊員の現状について

A 消防長 現在、消防本部職員102名の内、約

8割が救急隊員としての資格を有しており、その内、高度な救急救命処置を行う救急救命士は20名となっている。この人員の中から救急隊を編成して運用しており、増え続ける救急要請と国家資格を必要とする救命処置の必要性から救急救命士が不足している状況。この状況から、令和4年度より救急救命士の資格を有する職員の採用を進めるとともに、無資格の採用職員に対しては、救急隊員になるための資格を優先的に取得させるよう、

県立消防学校に働きかけを行って、救急隊員の養成を積極的に進めている。

【要望】 救急隊における救命救急士は、地域住民の生命と健康を守るために必要不可欠な存在であり地域医療体制の強化、災害時の対応など様々な役割を果たし、今後増えると予想される救急要請にも対応するために更なる支援が必要だと考える。救急隊員、救命救急士の育成、充足に向けた継続的な予算措置を強く要望する。

ネーミングライツは市民の声も反映して

市民の意見を加えた審査委員会で、施設を検討していく



福島 ヤヨビ



Q ネーミングライツのメリットデメリットをどう受け止めているか。市民の声が反映される審査方法を願う。

A 市長公室長 メリットは施設運営の一部を賄うことができる。デメリットは施設名が変わり市民に混乱を招いたり、他企業からの支援が受けづらくなる懸念がある。今後は市民の意見を加えた審査委員会で、施設を検討していく。

Q 給食費は中学生の無償化が決定されたが、小学生についてはどのように考えているのか。

A 教育部長 小学生については国の動向を注視し、他の自治体の事例を参考に実施の可能性を調査研究していく。

Q 高齢者の生活支援としてタクシー券の増加だけではなく、福祉タクシーの実現を願っているがその考え方はあるか。生活支援として紙おむつの支給はどう図られているか。

A 福祉部長 タクシー券は4月から56枚、一度に4枚使用できる。高齢者の外出支援の福祉タクシーも、課題解決を含め調査研究する。一人暮らしや高齢者のみ世帯の支援も体制づくりが重要。紙おむつ等支給も本人自立の観点から要介護3まで拡充する。

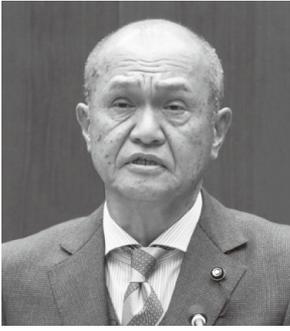
Q 特定健診及び後期高齢者健診の受診率は如何に。受診率向上のために受診負担金の無料化を願う。

A 保健衛生部長 受診率は特定健診が約35%、後期高齢者健診が約20%。未受診者に対しては個別受診勧奨を複数回実施し、特に受診率の低い40歳代の受診率向上を目指す。今後も医療費抑制による負担軽減に努める。

Q ジェンダー平等の社会構築、各種委員会の女性登用など女性活躍推進法に基づいた対策は図られているか。困難女性対策法が策定されているが、市としての取り組みは。

A 市民生活部長 女性の働き方は正規雇用と非正規雇用に二極化されているが、女性の職業生活における活躍推進のため環境整備を行っていく。

A 市長 管理職昇進については公正かつ公平に判断している。女性部長登用についても適切に取り組んでいく。



不登校生徒への今後の対応対策について

令和6年度より校内フリースクールを順次拡大する

石井 旭



Q 茨城県が不登校生徒数全国ワースト1位と知り教育支援センターやフリースクール計画対応について伺う。

A 教育長 令和6年度は校内フリースクールを市内学校に設置し、試験的に運用していきたいと考えている。校内フリースクールには専属の教育相談員を配置し、不安や悩みを抱える児童生徒への学習支援や教育相談などを行っていきたいと考えている。不登校の原因・背景が多岐にわたることを踏まえた上で適切にアセスメントを行い、支援の目標や方針を定め、多職種の専門家や関係機関とも連携・協働しながら、将来、児童生徒が精神的にも経済的にも自立し、豊かな人生を送れるような、社会的自立を果たすことに取り組んでいく。

Q 中央線の延伸をメロンロードさらに、県道『大和田羽生線』再提案する。

A 都市建設部長 小美玉中央線は世楽地内から上吉影の県道紅葉石岡線までを整備する計画となっている。小美玉中央線のメロンロード更に県道大和田羽生

線までの延伸は、その延伸により通勤や通学など基地周辺に住む方々などの利便性の向上や、市を東西に横断する道路軸の強化が図られることが期待される。まずは、現在整備中である中央線の整備効果を早期に発現できるように着実に整備を進めるとともに、延伸は、地域要望等の把握に努めるとともに、中央線の整備状況や周辺の交通状況の変化などを勘案しながら、実現可能性について検討していく。

Q 柴高街道の整備拡充を再提案する。

A 都市建設部長 柴高街道については、今後も着実に整備を進めるほか、水たまり等の排水対策や路面補修対策など、状況に応じた対策ができるよう努めていく。

A 市長 小美玉中央線の延伸及び柴高街道の整備は、基地周辺地域の生活環境の改善や交通ネットワークの構築につながる有効な道路と考えている。地域の皆様のご意見も、丁寧に聞きながら進めていきたい。

線までの延伸は、その延伸により通勤や通学など基地周辺に住む方々などの利便性の向上や、市を東西に横断する道路軸の強化が図られることが期待される。まずは、現在整備中である中央線の整備効果を早期に発現できるように着実に整備を進めるとともに、延伸は、地域要望等の把握に努めるとともに、中央線の整備状況や周辺の交通状況の変化などを勘案しながら、実現可能性について検討していく。

線までの延伸は、その延伸により通勤や通学など基地周辺に住む方々などの利便性の向上や、市を東西に横断する道路軸の強化が図られることが期待される。まずは、現在整備中である中央線の整備効果を早期に発現できるように着実に整備を進めるとともに、延伸は、地域要望等の把握に努めるとともに、中央線の整備状況や周辺の交通状況の変化などを勘案しながら、実現可能性について検討していく。

線までの延伸は、その延伸により通勤や通学など基地周辺に住む方々などの利便性の向上や、市を東西に横断する道路軸の強化が図られることが期待される。まずは、現在整備中である中央線の整備効果を早期に発現できるように着実に整備を進めるとともに、延伸は、地域要望等の把握に努めるとともに、中央線の整備状況や周辺の交通状況の変化などを勘案しながら、実現可能性について検討していく。

本会議のライブ中継や録画映像が視聴できます

インターネットによる映像配信を行っています。パソコンやスマートフォンから視聴できますので、ぜひご利用ください。



本会議の映像配信、会議録検索はこちらから



ライブ中継

LIVE が表示されている会議を選択し、ライブ中継をご覧ください。

録画映像配信

インターネット中継を行った過去の本会議をご覧ください。



会議録検索システムをご利用ください

市議会のホームページから会議録を簡単に閲覧・検索できます。「**会議録の閲覧・検索**」をクリックすると検索画面に移ります。日付や気になるキーワードなどを入力すると簡単に検索できますので、議会で何が議論されているかぜひご覧ください。

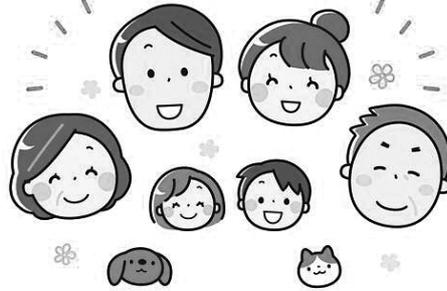


市民の声

一般質問を拝見（録画）させていただきました。2点程あります。1点目は、県や他市町村と比較すると、一般質問をする議員が多いと思います。会派があると聞きましたので、調整できると思います。2点目は、本題へ入る前の持論が長いと思います。質問に対する答弁は、市役所の部長様等が明快な答弁をしていると思いますが、それに対し議員さんが質問する内容等が簡潔かつ明瞭になっておりません。
(小岩戸・I)

3歳の子供がいるので、給食費の無償化について気になるので、議会だよりをこれからも興味深く読んでいこうと思います。(張星・T)

改選後の初議会、各委員の顔ぶれ多いに期待しています。能力と体力等を要する立場の議員さん今後もお体を大事に活躍して下さい。
(田木谷・T)



市議による一般質問に関心があるので、読ませていただいております。わかりやすく記されていてありがたいです。今後もよろしくお願いします。(羽刈・S)

物価が高く生活が大変な世の中です。小美玉市内に新たな賑わいの場所、メディアが取り上げてくれる、そこに人が集まれる活気があればいいなと思っています。頑張れ小美玉、地元愛で溢れるまち造り、道の駅とかあったら嬉しいです。
(田木谷・K)

美野里中体育館が改修工事中で今まで行っていた部活動が他の体育館等への移動で保護者の負担が増えています。市バスなど利用できると助かります。(橋場美・T)

たくさんのご意見、ご感想ありがとうございます。いただいたご意見を参考に取り組んでまいります

プレゼントクイズ

第70回 プレゼントクイズ

今回の議会だより第73号の中から、問題を3つ出題します。正解した方の中から抽選で、10名の方にQUOカード(2,000円分)をプレゼントします。ぜひご応募ください！

- 問① 令和6年第1回定例会の会期は〇〇日間で行われた
- 問② 令和6年度一般会計予算対前年度比〇〇%増
- 問③ 令和6年第1回定例会の一般質問は会派による〇〇質問と個人質問が行われた

◆第69回プレゼントクイズの正解：問① 1 問② 25 問③ 11

◇応募方法 電子申請・はがき・FAXなどで、住所、氏名、クイズの答えを明記してご応募ください。また、議会や本紙に対するご意見やご感想もあわせてお寄せください。応募システムが「いばらき電子申請」から「LoGoフォーム」に変更となりました。

◇締め切り 令和6年5月31日(金)まで
*当日消印有効



応募用QR

◇応募先 〒319-0192 小美玉市堅倉835
小美玉市役所議会事務局宛 FAX: 0299-48-1199

◇その他 応募に関する個人情報は、プレゼントの送付以外には利用しません。当選者発表はQUOカードの発送をもってお知らせします。

令和6年能登半島地震の被災者支援のため 義援金を寄託

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震により被災された方々が一日も早く平穏な生活に戻れることを願い、小美玉市議会は令和6年2月5日に茨城新聞文化福祉事業団へ義援金10万円を寄託しました。



▲写真左から柴田支局長、長島議長、鈴木副議長

議会運営委員会（視察）

議会運営委員 7名
参加者 委員 7名、議長、副議長

期 日 令和6年1月22日（月）～23日（火）

視察内容 議会改革の取り組みについて（京都府福知山市）

京都府福知山市では議会活動報告、市民との交流に力を注いでいて、対話形式の意見交換会を数多く開催しています。また、出張委員会の実施や、大学生との交流を積極的に実施し、将来の議員担い手を見据え、若者に議会、政治への興味を広める活動を行っています。

議会ICT化の推進として、タブレットを活用した議会運営、タブレット端末とスクリーンを使用した一般質問などを行っています。また、災害時に備え、オンライン会議を実施する体制を整えています。

議会基本条例に基づく基本理念の達成に向けて、議会の活動実績の実現度、今後の方向性について議会として検証評価しています。

そこで、議会改革の経過・現状、ICT活用の取り組み、高校生議会の開催、議会基本条例の検証評価、課題改善に向けた取り組みなどについて研修しました。



T×茨城空港延伸を議会期成同盟会が県へ要望

T×茨城空港延伸議会期成同盟会（会長 長島幸男小美玉市議会議長）は、つくばエクスプレスを茨城空港まで延伸することにより、茨城空港の利便性向上・利用者の増加と併せて、沿線地域の産業・経済の振興、更には茨城県の発展に大きく繋がるとの観点から、周辺7市議会が団結して、つくばエクスプレスの茨城空港延伸に向けた取り組みを行っています。

令和6年2月21日、茨城県庁にて茨城空港利用者の利便性向上、並びに沿線地域の交流人口の増加、土地利用・産業振興及び観光振興の向上の実現に向け茨城空港へつくばエクスプレスの延伸を要望するとともに、土浦方面延伸の、早期整備について要望しました。



▲茨城県政策企画部長に要望書を提出

荒川一秀議員に感謝状贈呈

茨城県市議会議長会において会務の運営と地方自治の伸張発展に尽瘁し、市政の向上振興に貢献した功績を称え、茨城県市議会議長会から感謝状が贈呈されました。



荒川 一秀 議員

茨城県市議会議長会第2回議員研修会報告

◆出席者

議長、鬼田 岳哉、宮内 勇二、戸田 大我、内田 和彦

令和6年2月16日、結城市石島建設プラネットホール・ゆうき図書館にて、茨城県市議会議長会が主催する令和5年度第2回研修会が開催され、小美玉市からは新人議員4名、及び議長が出席いたしました。

研修会には、白鷗大学の市村充章教授（行政学）が「若者の政治不信・政治離れ、主権者教育」をテーマに講演、若者が投票に行かない理由の検証、今後必要となる主権者教育、および若者の選挙情報の取得手段等の説明がなされました。研修後には、各市議会から出席した議員との意見交換を実施。市政発展に向けた情報共有を行い、充実した時間となりました。

本市においても若年層の投票率低迷は大きな課題です。研修で得た情報を基に、若年層への啓蒙活動、具体的には広報手段の拡充や議会見学会、そして新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、その後、書面報告となっていた議会報告会の開催検討等、投票率向上のため、より政治が身近に感じられるような施策を検討してまいります。 鬼田 岳哉



6月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
5/26	27	28 議会運営委員会	29 本会議 (議案説明等)開会	30 議案調査	31 議案調査	1
2	3	4 議案調査	5 本会議 (一般質問)	6 本会議 (一般質問)	7 本会議 (一般質問)	8
9	10	11 常任委員会	12 常任委員会	13	14 本会議 (報告、採決) 閉会	15
16	17	18	19	20	21	22

*議場（市役所本庁舎3階）での傍聴には、簡単な受付（氏名・住所等の記入）が必要です。

*委員会等の詳しい日程については、5月28日(予定)に開催する議会運営委員会で協議します。議会事務局までお問い合わせください。

*市ホームページから本会議の様様をインターネット配信しております。パソコン・スマートフォンからご視聴できます。また、本庁舎、小川総合支所、玉里総合支所1階ロビーに設置されているTVモニターでもご自由にご覧いただけます。(受付不要)

会議の種類	傍聴	モニター中継
本会議	可	有
委員会	要確認	無

次の定例会は

5月29日(水) 開会予定

編集後記

桜の花も咲きそろい心躍る頃となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

おみたまま市議会だより第73号をお読み頂きありがとうございます。

今回の3月議会では、令和6年度予算をはじめ、市政運営にとって重要な議案が数多く審議されました。市民の皆様の大切な税金が、何にどう使われるのか議員各位が予算特別委員会で確りと精査をいたしました。

今回の議会だよりは、これらの議案の内容や審議の様子を分かりやすくお伝えできるよう努めました。また、議員の一般質問の内容や議会活動を報告したコーナー、市民の皆様の声も掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

樹木の枝葉は根の広がり以上に育たないと言われています。

市政を木に例えると、根が議員、幹が議会、枝葉が行政サービスとします。

根である議員が日々自己研鑽に励み、広く深く根を広げなければ幹や枝葉は育ちません。すなわち市政の繁栄はないと考えます。これからも幹を太く葉を茂らせ小美玉市が大樹となる為に、日頃の議員活動に取組んで参ります。

議会は、市民の皆様のご代表として、市政の運営を担っています。議会だよりを通じて、我々議会の活動へのご理解、関心を深めていただければ幸いです。

今後とも、議会だよりを発行し、議会活動の情報を積極的に発信していきます。

発行編集責任者
広報特別委員会

議長	長島 幸男
委員	香取 憲一
委員	山崎 晴生
委員	鈴木 俊一
委員	長津 智之
委員	真家 功
委員	戸田 大我
委員	鬼田 岳哉

山崎 晴生

